

C-48 着装に関する実証的研究 (Ⅱ)

—質問紙にあらわれに母と娘の意識について—
英立女子短大家政 ○市橋洋子 新野静枝

目的 前回女子大生を対象とし、日常の着装や流行に関してどのような意識をもっているのか心理的側面を調査し、26回本総会に於て、女子大生の服装の流行に対する関心は、ほぼ青年期の健全な発達と併行してあらわれており、流行に接する態度は割合冷静な眼で、客観的、批判的に見極め、自分のものとしてパーソナリティを十分表出しようとする認識がみられることを述べた。では母親は着装に関してどのような考え方をしているのか興味深い問題なので、今回は女子大生の母親を対象として、同様の調査を行った。

方法 前回同様、28項目からなる質問紙を作成し、多肢選択法および自由記入法により調査した。対象は英立女子短大家政科学生324名、及びその母親324名、計648名である。

結果 調査の結果に基づき、女子大生と母親の意識について比較検討し、その差異や要因につき若干の資料を得たので報告する。